

臨時休校期間(5月11日～)の課題について～国語～

- ・予習を中心に行います。
- ・教科書の本文を読んで、ワークシートを行う方式です。
- ・学習計画表にあるように、いばらきオンラインスタディーを見て行うことで、理解を深めることができます。



* 学校再開のとき
持参して下さい。

第三連	第二連	第一連		文末
		後半	前半	
……かもしない (18行目)	……のだ (11行目)	……する (8行目)	……らしい (3行目)	音読のときに、文末をどんなふうに読んだらよいか
この詩を読んで感じたことや考えたことを簡潔にまとめよう。				

- 1 この詩の第一連(1～8行目)は、前半(1～3行目)と、後半(4～8行目)に分けることができる。前半と後半の関係は、どのようになっているだろうか。簡潔に説明してみよう。
- 2 この詩の第一連前半(1～3行目)と、第二連(9～11行目)の関係は、どのようになっているだろうか。簡潔に説明してみよう。
- 3 「どこかの花のための虹」(13～14行目)とは、どんな存在だろうか。
- 4 音読するときに、それぞれの文末をどんなふうに読んだらよいか、各連の内容や文末の言葉の意味を踏まえて考えてみよう。

生命は
一番

三年 組 番 名前

二つのアザミ

三年 組番名前

- 1 文章中で取り上げられている「アザミ」「薊」の例について、それぞれの特徴を読み取って簡潔にまとめてみよう。

実体験	読書体験
少年時代に 知っていた 「アザミ」	富沢賢治の 「種山ヶ原」で 出会った「薊」
梶井基次郎の 「闇の絵巻」で 出会った「薊」	

- 2 アザミに関する実体験や読書体験を踏まえて、筆者は言葉に対する考え方を述べている。その考え方を具体的に捉えるために、次の二つの表現の意味を考え、簡潔に説明してみよう。

- ・「より豊かな花に育つていった」(20・9)とは、どういうことだらうか。

- (3) ○「世界の見方を変えてくれた」(20・9)とは、どういうことだらうか。
- この文章を読んで感じたことや考えたことをまとめよう。

俳句の読み方、味わい方 (1) 三年 組番名前

- 1 次の空欄を埋めて、俳句という表現形式の特徴を確認しよう。

五・七・五の「 」音の「 」(きまつた形)を持ち、季節感を表す言葉である「 」を詠み込むのが基本。これを漢字四字で「 」という。

俳句の五・七・五は、それぞれ「 」・「 」・「 」とよばれる。

・「や」「かな」といった「 」を使うことなどにより、句の途中や末尾に「 」が生じる。

季語とともに、一見無関係に思える事柄を詠み込む方法を「 」といふ。これに対しても、一句全体で一つのことを詠む「 」といふ詠み方もある。

- 2 鑑賞文で取り上げられている三句の俳句について、鑑賞文を参考にして、表されている情景や心情と、表現の特徴を簡潔にまとめよう。

俳句(三句を書き写そ)	表されている情景や心情と、表現の特徴
(中村汀女)	
(星野立子)	

- ★ 三句を音読みし、俳句のリズムを味わおう。